

ウェルビーイング施策の鍵🔑が見つかる！

エ フ ラ ボ

F-labo 研究報告会

参加無料

2月21日(金)
10:00~16:00

Fukuoka-laboratory : 政策課題研究

第1部

基調講演 10:00~11:00

対談 11:00~12:00

【テーマ】ウェルビーイング政策を生み出す土壌づくり

身体的・精神的・社会的に満たされている状態であることを指す「ウェルビーイング (well-being)」。この考え方に基づくまちづくりの実践者・奈良県三宅町の森田町長をお招きし、基調講演と吉弘氏との対談を行います。

【森田氏プロフィール】

- ・1984年奈良県磯城郡三宅町生まれ。
- ・2015年に「全国で2番目に小さい町」の奈良県三宅町議会議員に当選。
- ・2016年から町長として「日本一夢が叶う住民参加型の町」へ改革を進める。
- ・2021年12月、ビジョンを象徴する交流まちづくりセンター「MiiMo(みいも)」がグランドオープン。
- ・「対話・挑戦・失敗」のバリューサイクルを大切に、ウェルビーイングの高い「自分らしくハッピーにスモール(住もうる)タウン」の実現を目指す。



【講師】

森田 浩司 さん
(奈良県三宅町長)

第2部

研究報告会 13:00~16:00

令和6年度 F-labo テーマ「ポストコロナ時代におけるウェルビーイング政策の方向性」をもとに、研究生たちが1年を通して取り組んできた研究の成果を発表し、講師とともに意見交換を行います。



【講師・コーディネーター】吉弘 拓生 さん

(総務省地域力創造アドバイザー・内閣官房地域活性化伝道師)

研究生派遣自治体

飯塚市、田川市、福津市、宮若市、みやま市、岡垣町、桂川町、大木町

- 日 時：令和7年2月21日(金)【受付】9:40開始
- 会 場：福岡県市町村職員研修所(大野城市大字乙金8番地1) 3階大研修室
- 申込方法：研修担当課を通じて、研修所ホームページから申込み(期限：2月13日(木))
- 問い合わせ先：☎092-504-0551 E-mail shioji-kari@ctv-kenshu-fukuoka.jp